

休校中の 漢字学習の進め方

～「意味をもつ文字」を使いこなして、

考えや気持ちを伝えあうために～



なぜ漢字学習は大切なのか

「なぜ、漢字学習は大切なのか。」または、「なぜ、漢字を学習しなければならないのか。」皆さんは、この問いに答えられますか。少し考えてみましょう。

【自分の考え】

どうですか？

漢字を書けるようになることにどんな意味があるのか、自分なりの答えは出ましたか。

「たくさんの漢字を使いこなせている自分の生活」と、「漢字を使えない自分の生活」を想像してみてください。

漢字ドリル音読の進め方

※漢字学習では、まず読めることが大事です。読めない字は書けないし、書けたとしても使えませんよね。

※読み終わるまでの目標時間を決めます。

※読む箇所、方法は以下の通りです。

① 漢字の読み方（音読み・訓読み）

② 熟語

③ 例文

を、それぞれ、一冊丸ごと最初から最後まで通して音読します。ページをめくるのも素早く！

【①の音読】

- ①の読み方を素早く、しっかりと声を出して音読する。
- 一回目のタイムをもとに目標タイムを設定しましょう。

【②の音読】

- ②の熟語の部分を音読する。
- 一回目のタイムをもとに目標タイムを設定しましょう。

【③の音読】

- ③例文の部分を音読する。
- 一回目のタイムをもとに目標タイムを設定しましょう。

漢字ドリル学習の進め方

※漢字学習は、原則として自分で進めます。やり方を理解して、自分のペース（自分が決めた、自分に合ったペース）で計画的に進める力をつけることも目的の一つだからです。

※各クラスで進めている方法で構いませんが、以下の手順を参考にして、3学期のドリルはすべて必ず終えましょう。

①音読3回。（読み方、文例、熟語）

②指なぞり3回。（書き順の声を出しながら、大きな漢字を3回指でなぞる。）

③書き順練習指なぞり3回。（1画ずつ、1画目にもどりながら指なぞりをする。）

「1・1、2・1、2、3・1、2、3、4…」

④空書き3回。（書き順の声を出しながら、3回空書きする。）

⑤鉛筆なぞり。（1ミリもはみ出さないように鉛筆でなぞる。）

⑥鉛筆書き。（ドリルのマスすべてを、丁寧につめる。）

漢字チェックの進め方

※学習した漢字が書けるようになったかは、しっかりチェックしないと確かめられません。書けるようになったつもりをなくしましょう。

※何度も自分でチェックして、思い出すことで確実に覚えることができます。

※チェックして、忘れていた漢字は、練習します。

※方法は以下の通りです。厳しく行うことが大切です。

①ノートなどで漢字ドリルの読み以外を隠して、空書きできるかチェック。

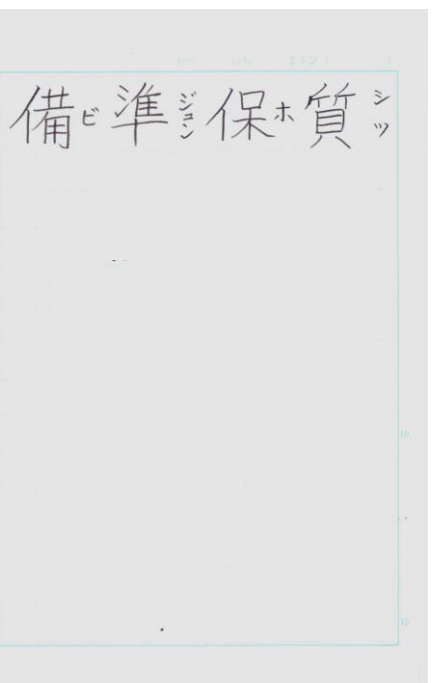


②書けなかった漢字は、上に✓を入れる。

一冊丸ごとチェックする。次回のチェックで書けたら✓は消す。

③書けなかった漢字を漢字練習ノートに書き出しておく。

4マスを使って大きく書く。
必ずその場で書き出すこと！



「漢字活用練習」の進め方

※学習した漢字が書けるようになったら、その漢字の熟語などをたくさん知り、使いこなせるようにしましょう。

そのための練習が、「漢字活用練習」です。

※辞書などを使って、学習した漢字を使った熟語をたくさん調べて言葉の貯金を増やしましょう。

※✔のついた漢字がほとんどなくなったら取り組みます。

※手順は以下の通りです。

①活用練習する漢字を決める。

②その漢字を使った熟語
や使い方を調べ、ノート
にたくさん書き出す。

③その熟語の意味が分からない場合、意味を調べ、その熟語の下に書く。

④ 調べた熟語を使って
例文を書く。

調べた熟語から、自分で選んで分を作りましょう。よく使いそう、知らなかったなど、自分なりの観点で。

見かけよりも実質が大事だ。

質疑応答の時間をとります。

見たこともない物質を拾った。

質屋に時計を預ける。

良質 物性の質がよいこと

本質 物事の大切な性質

物質 生み出せる才能

均質 物のどの部分も同じ性質

材質 材料の性質

体質 生み出せる体の性質

品質 品物のよい悪いの性質

質す たかぬてたしなめる。罪がある人をたかぬて調べる。

訓読みで、覚えておきたいものがあれば書くとよい。

**訓読みで、覚えて
おきたいものが
あれば書くとよい。**

[illegible]

なるべくたくさん書きましょう。
辞書にのっているものすべて書
くつもりで！

がつ にち ようび ()

訓読みで、覚えて
おきたいものが
あれば書くとよい。

なるべくたくさん書きましょう。
辞書にのっているものすべて書くつもりで！